

タブレットで本を借りよう！ 玉名圏域電子図書館オリエンテーション

3月7日(火) 2・3校時に、玉名圏域電子図書館オリエンテーションを行いました。南関町図書館の瀬上先生から使い方を教わり、3年生以上の児童が実際に電子図書サイトにアクセスしました。ログインして本を借りたり読んだり返したりできます。読み聞かせ機能もあり、予約することもできます。タブレット上で気軽に本に接することができるので、読書がこれまで以上に身近になります。



説明のプリントと個人用の図書館カードを配布してあります。ご家庭で大切に保管して、たくさん活用してください。子どもたちがより本に親しんでくれることを期待しています。



災害について考えさせられた 救給五目ごはん

3月13日(月)は、給食センターの停電のため調理できなくなり、急きょ、非常食用の救給五目ごはんと牛乳になりました。東日本大震災からちょうど12年。熊本地震からまもなく7年。小学生には記憶のない児童も増えてきました。改めて、災害時の食事について考える機会になりました。



救給五目ごはんは、温めなくても食べられるレトルト食品でしたが、温かい食事がいかにありがたいかを再確認しました。ないに越したことはありませんが、万一の備えはぜひ各ご家庭でもなさっておいてください。

南関ゆかいの偉人 北原白秋が 本にいました

新聞でも紹介されていましたが、南関生まれの偉人、北原白秋を漫画化した本が作成され、子どもたち全員に配付されました。白秋は福岡県柳川市出身ですが、母の里である南関の石井家で誕生し、幼少期に何度も訪れた石井家で過ごした体験が、その後の詩作等に生かされました。童謡を含む有名な詩をたくさん残し、南関一小では今でも白秋作詞の校歌が受け継がれています。

言葉を大切にしたい白秋の生き方には学ぶことがたくさんあります。四小の子どもたちにも、たくさんの言葉を身に付けて、豊かに表現したり、深く考えたりする力をつけたり、相手を優しく包む言葉かけができる心を育てたりしていければと思います。また、ふるさと南関に誇りをもってほしいとも願っています。ご家庭でもぜひご一読ください。



辞書ノート 頑張って調べたね！

夏休み明けからスタートした辞書ノートの取組も、半年かけて積み重ねの跡が見えてきました。授業中はもちろん、いろいろな時間を生かして、教科書の気になる言葉の意味を調べてはノートに記録する作業を積み重ねて、たくさんの児童(学年によっては全員)が目標の語数を突破しました。

そこで、年度終わりにあたり、目標語数突破の児童に「辞書ノートがんばり賞」を贈りました。この取組は今後も続きます。これからも辞書に親しみ、言葉を習得していってくると楽しみにしています。

